

氏名	井上和久	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	基礎・神経・運動器・生活環境支援(地域・予防)理学療法、教育・管理				
学位	学士(社会学)、博士(医学)				
学歴	1995年高知リハビリテーション学院理学療法学科・佛教大学社会学部社会福祉学科卒業、2013年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学(博士課程)修了				
経歴	1995年田無病院、1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2014年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	(公社)日本理学療法士協会、(公社)埼玉県理学療法士会、臨床歩行分析研究会、理学療法科学学会、日本義肢装具学会、日本地域理学療法学会(常任運営幹事)、日本予防理学療法学会(運営幹事)				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
(2) 論文					
1 在宅医療と在宅介護サービス推進のためのIPW研修プログラム「三郷モデル」の開発プロセスと評価	共著	保健医療福祉科学2018 Vol.8:p53-60	丸山優、伊藤義典、 鳶末憲子、 井上和久 、 柴山志穂美、 新井麻紀子	2019.3	
(3) 学会発表					
1 装具フォローアップにおける支援体制の検討	共著	第7回日本支援工理学療法学術集会、摂津市	○井上和久 、丸岡弘、 原和彦	2018.9	
2 非接触式3次元形状計測と有限要素解析によるソケット適合評価の検討	共著	第34回日本義肢装具学会学術大会、名古屋市	○原和彦 、豊田輝、 井上和久 、岡安健、 寺村誠治、萩臺伸之、 岩本美咲、森田真史、 鈴木 保	2018.11	
(4) その他					
1 該当なし					
2. 競争的資金等の研究					
競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1 埼玉県立大学 奨励研究	バランストレーニング効果-プラスチック短下肢装具の違いによる効果検証-(研究代表者)			2018.4~2019.3	
3. 教育業績					
講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
(1) 講義					
1 生活環境支援理学療法特論	2018.4~2018.7	主に授業は、PCによるプレゼンテーション講義を実施し、生活環境支援理学療法に関する文献抄読も実施した(7コマ)。(大学院博士前期課程)			
2 義肢・装具学実習	2018.5	作業療法学科の授業:義肢・装具学実習「体幹・下肢装具について」担当。主に授業は、PCによるプレゼンテーションで実施した(2コマ)。			
3 理学療法人間関係論	2018.6~2018.8	主に授業は、PCによるプレゼンテーション講義と演習形式の講義を実施した。また、毎回事前準備および授業理解を向上させるためレポート課題を課した(8コマ)。			
4 リハビリテーション看護	2018.10	看護学科の授業:リハビリテーション看護「運動機能障害に対する基本的動作の回復・維持」担当。主に授業は、PCによるプレゼンテーションで実施し、理学療法の概要・車椅子・装具等の現物を元に講義を行い、トランスファーについても実技を実施した(1コマ)。			
5 日常生活活動分析学	2018.10~2018.11	主に授業は、PCによるプレゼンテーション講義を実施し、体験学習(学内での車椅子乗車・介助)も実施した(8コマ)。			
6 義肢装具学	2018.10~2018.12	主に授業は装具について講義し、PCによるプレゼンテーションで実施した(3コマ)。			

7	看護学概論	2018.12	健康開発学科の授業:看護学概論「障害に応じた装具の使用と移動能力の改善」担当。主に授業は、PCによるプレゼンテーションで実施し、車椅子・装具・杖等の現物を元に講義を行った(1コマ)。
(2) 演習			
1	神経障害理学療法実践テュートリアル	2018.4~2018.6	脳血管障害・パーキンソン病についてテュートリアル演習形式で8グループに分かれ実施した。4名の教員の取りまとめ・進行を行い、2クール実施した(1クール2グループ担当:8コマ)。
2	理学療法セミナー(OSCE II)	2018.4	学外の理学療法士をSP・評価者として実施・担当責任者(8コマ)。
3	理学療法セミナー(OSCE I)	2018.7	学外のSP研究会の方をSPとして実施(4コマ)。
4	リハビリテーション学演習:生活環境支援系理学療法学	2018.10~2019.1	生活環境支援理学療法に関する演習(簡易のプラスチック短下肢装具の作製)を実施した(6コマ)。(大学院博士前期課程)
5	理学療法特別演習	2018.10~2019.2	科目責任者として、オムニバスの調整を行い、担当授業は「日常生活活動学」について一部PCによるプレゼンテーションで実施し、また国家試験出題傾向の対策について講義した(4コマ)。また、全体オリエンテーション・試験対策について実施した。
6	生活環境支援理学療法学演習	2018.11~2019.1	生活環境における理学療法の介入について志向する講義・演習を実施した。演習は、臨床教育実習で担当した学生自身の症例情報を元に様々な環境を想定・提案し、発表・討論を実施した。また、希望者のみ簡易版プラスチック装具作製方法を教授した(10コマ)。
(3) 実習			
1	臨床教育実習Ⅲ	2018.4~2018.6	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。
2	ヒューマンケア体験実習	2018.4~2018.10	2施設(学生9名)の施設担当教員として、体験実習の事前オリエンテーションおよび施設訪問・報告会等を実施した。
3	臨床教育実習Ⅳ	2018.6~2018.8	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。
4	臨床教育実習Ⅱ	2018.9~2018.10	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。
5	日常生活指導実習	2018.10~2019.2	PCによるプレゼンテーション講義と6グループに分かれ疾患別の日常生活指導の実技を実施した。また、介護福祉機器展示場に行き、介護福祉機器の説明を実施した(23コマ)。
6	義肢装具学実習	2018.10~2019.2	授業において、実習形式で行い、義足・装具について、模擬義足体験やSHB作成などを実施した。また、実際切断者(4名)の患者さんに来ていただき、ソケットの作成を8グループに分かれ実施した(23コマ)。
7	臨床教育実習Ⅰ	2019.2~2019.3	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価の実践について確認・指導した。
(4) 論文指導			
1	卒業論文	2018.4~2018.12	1名:1テーマについて抄録作成・発表および論文作成の指導を実施した。
2	学位(修士)論文審査	2018.2	主査として論文審査を実施した(1名)。
3	学位(修士)論文審査	2019.2	副査として論文審査を実施した(2名)。
(5) その他			
1	担当ゼミの打ち合わせ	2018.4~2019.3	1年生2名、2年生3名、3年生4名、4年生1名、計10名の担当ゼミ生について打ち合わせを行った(年2回)。また、3年生については卒業研究に向けて打ち合わせ・研究指導等を実施した(23コマ)。
2	水戸メディカルカレッジ:装具学・義肢学講義	2018.4~2019.1	装具学・義肢学の講義について実施した(30コマ)。

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	彩の国いきがい大学熊谷学園 講演	公益財団法人 いきいき埼玉	身体バランス(平衡機能)について
2	予防理学療法研修会(基礎編)	日本理学療法士協会	予防理学療法概説、等
3	平成30年度埼玉県立大学理学療法学科臨床教育実習指導者講習会	埼玉県立大学	臨床実習における指導方法(教育・管理)ー学生・CV・SVとの関わり方ー
4	平成30年度埼玉県立大学理学療法学科臨床教育実習指導者講習会	埼玉県立大学	プラスチック短下肢装具製作の実践ー陰性・陽性モデル作製までー
4	理学療法士講習会(基礎・技術)	埼玉県理学療法士会	装具療法ープラスチック短下肢装具の適合評価ー
5	平成30年度埼玉県立大学IPE総合過程	埼玉県立大学	IPWの実践報告
6	平成30年度埼玉県立大学多職種連携基礎研修	埼玉県立大学	チームワークを深化させる「コミュニケーション技術」
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	日本理学療法士学会	日本地域理学療法学会:常任運営幹事	2016.4～現在
2	日本理学療法士学会	日本予防理学療法学会:運営幹事	2016.4～現在
3	日本理学療法士学会	第5回日本地域理学療法学会学術大会準備委員:会計担当	2017.4～2019.3
4	日本理学療法士学会	第5回日本予防理学療法学会学術大会:演題査読	2018.4～2018.5
5	日本理学療法士学会	日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会学術大会2020:合同大会長	2018.4～現在
6	日本理学療法士学会	第7回日本地域理学療法学会学術大会:大会長	2018.4～現在
7	専門リハビリテーション研究会	第11回義肢適合支援のあり方研究会:準備委員長	2018.4～2019.3
8	日本理学療法士学会	日本予防理学療法学会 第4回サテライト集会:シンポジウム座長	2018.7
9	日本理学療法士学会	日本予防理学療法学会 研修会(基礎):講師	2018.7
10	日本理学療法士学会	第6回日本運動器理学療法学会学術大会:演題査読	2018.7
11	日本理学療法士学会	第5回日本地域理学療法学会学術大会:演題査読	2018.7
12	日本理学療法士学会	第23回日本基礎理学療法学会学術大会:演題査読	2018.7～2018.8
13	(公社)埼玉県理学療法士会	第27回埼玉県理学療法学会:演題査読	2018.9～2018.10
14	埼玉県立大学	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会:論文査読	2019.1～2019.2
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	学科会議(39回)		
2	学科業務会議(39回)		
3	専門職連携を学ぶ講座実施部会(3回)		
4	入試(推薦・前期・後期・センター試験)		
5	ヒューマンケア実習室担当者会(3回)		
6	オープンキャンパス参画(6/10、8/5)		
7	4年生担任(前期1回、後期1回43名面談)		
8	理学療法セミナー(OSCE2:科目責任者・運営担当)		
9	専門基礎・PT・OT意見交換会(2回)		
10	高等教育開発センター会議(12回)		
11	教育開発センター会議(11回)		
12	PT・OT就職説明会(担当運営責任者)		
13	臨床教育実習Ⅲ・Ⅳ:面談(43名)		
14	国家試験対策:模試(41名)		
15	卒業研究発表会:運営担当者		

6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		